

6

明日を拓く 仕組みをつくらう

～ 効率的・効果的な行財政システムと人づくり ～

1. 自治体DXの推進

施策1

DXによる行政改革



これまでの取組

調査と関係者へのヒアリングを通じて、組織全体の体制を見直し、必要な人財を積極的に採用することで、より機能的な組織づくりを進めてきました。

また、自治体クラウド（複数の自治体が行政情報を外部のデータセンターで共同利用し、運用管理するシステム）のシステム共同化による割り勘効果やアウトソーシングによる業務の効率化を図り、最小の経費で最大の効果を発揮するための行政改革を推進してきました。公共施設予約システムの運用を開始し、利便性の向上と施設管理の効率化を進めてきました。

めざす姿

デジタル技術の活用により、働き方改革を推進しながら行政需要の変化に対応した事務事業や組織体制の見直しを実現しています。

地域の活性化や住民サービスに与える影響を見極めながら、施設の統廃合が進められ、維持管理経費の削減や効率的な施設運営が実現しています。

実施方針

- デジタル技術の活用による行政手続のオンライン化推進および窓口手続簡素化の推進
- 公開型GIS（自治体が保有する位置情報を含むさまざまな行政データや地域情報を、インターネットを通じて、市民や事業者へ公開・提供するシステム）と公共交通の連携
- 自治体DX（デジタル技術を活用して行政サービスの向上をめざす地方自治体の取組）の推進
- マイナンバー利用環境における持続的な情報セキュリティの確保
- マイナンバーカードの普及促進
- セキュリティポリシーに基づく情報データ運用の透明化
- 社会情勢や多様な行政需要に応じた柔軟な組織体制の構築
- テレワーク環境の推進
- 自治体クラウドの推進
- 公共施設管理の最適化



施策2 人財の育成

これまでの取組

湖南省人材育成基本方針に基づき、職員研修計画を定めて年間研修プログラムを推進してきました。また、研修に関する情報提供を積極的に行い、研修機会の確保を図ってきました。

また、育成人事考課制度を2014年度（平成26年度）から本格運用し、適宜見直しを行い、改善を重ねてきました。

めざす姿

市職員の意識と能力が向上し、多様化する市民ニーズに対応し、質の高い行政サービスが提供されています。

実施方針

- 研修制度の充実による市職員の業務能力の向上
- 育成人事考課制度による人材育成の向上

2. 財政の健全化

施策1

効率化による経費削減



これまでの取組

投資的事業など要求調査を実施すると共に、翌年度以降の計画を把握し、今後の財政状況を考慮しつつ予算編成を行ってきました。
また、利用目的がない公有財産については、公売により売却を進めてきました。
年度ごとの決算に基づき、財政状況および財務書類、財政健全化判断比率などを湖南市ホームページなどで公表してきました。

めざす姿

財政基盤が安定し、透明性の高い財政運営が行われています。
事業計画が一時的に中断している行政財産は、期限付きで貸し付けを行うなど遊休財産が有効に活用されています。

実施方針

- 経常経費の抑制や投資的事業の年度間調整などによる財務改善の推進
- 公有財産の利活用の促進
- 財政健全化判断比率や財務書類の公開による透明性の高い財政運営の推進

施策2

財源の確保



これまでの取組

ふるさと納税や企業版ふるさと納税の積極的な活用など歳入確保のほか、市税や給食費などの未収金の徴収強化などに取り組んできました。

めざす姿

人員の制約や数年ごとの人事異動があっても、各債権担当課でノウハウ蓄積・継承などができる仕組みとなっています。
ふるさと納税などにより、財源が確保されています。

実施方針

- 未収債権への取組や新たな財源の確保
- 国、県の補助制度の活用などによる財源の確保

3. 近隣市町との連携

施策1 近隣市町との連携の推進



これまでの取組

湖南・甲賀の2市により広域行政組合や病院事業を効率的に運営してきました。また、栗東市・野洲市・竜王町・甲賀市などの近隣・関係市町と共通する課題ごとに協議会を設置し、事業の協働実施や国・県などへの要望活動を行ってきました。野洲市および竜王町との協議会では、新たな広域幹線道路の整備実現に向け、滋賀県と共に勉強会を開催するなど広域的な連携を図ってきました。

めざす姿

隣接市町との連携が強化され、公共交通課題や広域道路整備、河川改修など広域課題の対策が進んでいます。

実施方針

- 甲賀広域行政組合の効率的な運営の推進
- 公立甲賀病院の効率的な経営の推進
- 公共交通課題に対する隣接市との連携強化
- 新たな行政課題に対する広域自治の検討
- J R 草津線複線化、広域道路整備、河川改修などの共通の行政課題に対する連携の推進

施策2 地域間交流の推進



これまでの取組

しがnaviには、湖南三山や琵琶湖博物館などを観光できるモデルコースが紹介されています。また、滋賀県内の図書館の蔵書を横断的に検索可能なシステムが整備されています。友好交流協定を締結している鳥取県北栄町、北海道比布町、観光交流協定を締結している高知県室戸市、東洋町とそれぞれ市内で開催するイベントを通じて交流を行ってきました。

めざす姿

周辺市町と連携した魅力ある観光地のネットワーク化により、地域全体の観光ブランドイメージが高まっています。専門性が必要な施設や規模の大きな施設について、市町間の広域連携によって相互利用が実現しています。友好交流協定・観光交流協定を締結している各市町と草の根レベルの民間交流が活発になり、ビジネス創出などにつながっています。

実施方針

- 観光資源を活用した地域内連携の促進
- 地域内連携による施設の共同整備の促進
- 地域間交流の推進
- 市民交流の推進による交流人口などの拡大

第1章
小規模多機能自治のまちづくり

第2章
自然を生きかし、自然と共生するまちづくり

第3章
人と産業が集い、公共交通でつながるまちづくり

第4章
こどもが主役の、生涯健康で安心して暮らせるまちづくり

第5章
市民文化を築き、育み、伝えるまちづくり

第6章
効率的・効果的な行財政システムと人づくり